

県優秀校として神戸中学校が表彰されました !!

優れた実施教育で成果を上げ、特色ある取り組みを行った県内の小中学校を顕彰する「県優秀校」(岐阜新聞・岐阜放送主催)で神戸中学校が表彰されました。同校では責任と誇りを生徒一人一人が共有し、ボランティア活動に取り組んだことや、情報通信技術(ICT)機器を活用しながらの学習を実施したことが評価されました。

ボランティア活動では、神戸山王まつりで有志の生徒が清掃活動を行うことが伝統となっています。その他にも、広神戸駅での清掃活動や交通安全の啓発活動、高齢者施設での手伝いなどに取り組んでいます。



▲山王まつりでの清掃活動



ICT活用では、全教室に電子黒板を設置し、生徒は動画や音声が流れるデジタル教科書などで学習。体育の授業では、タブレット端末で互いに動画を撮り、アドバイスをし合うなど、対話的な学びにも繋がっています。

生徒会長の中村誇太朗さん(3年)は「今回表彰されたことは、神戸中学校の誇りです。今回だけで終わらせず、次の代へしっかりと継承していきたいです」と話しました。

みんなで楽しくクリスマス会！ 12月19日

子育て支援センター「おひさま」でクリスマス会が開催され、未就園児の親子約100組が参加しました。子育て支援「みるきい」の皆さんによるクリスマスのお話を聞いたり、ばら菜と一緒に音楽に合わせて親子で体を動かしたりしました。

会の終わりには、サンタクロースやトナカイ、みるきいの皆さんから子どもたちにお菓子がプレゼントされました。



サンタクロースがやって来た 12月24日

池田・神戸ライオンズクラブと神戸町社会福祉協議会の方がサンタクロースに扮し、町内4つの幼稚園を訪問しました。園児たちはサンタクロースからおもちゃやお菓子などのプレゼントをもらい大喜び。プレゼントのお礼に園児たちみんなでクリスマスの曲に合わせた踊りを披露しました。



▲下宮幼稚園

お正月に向けてミニ門松づくり！



12月24日

神戸地区公民館主催のミニ門松づくり教室が、役場で開催され、約20名が参加しました。

講師の飯田静世さんのアドバイスを受けながら、長さ30cmの竹の周囲にマツやナンテンの実、葉ボタンなどを配置。「迎春」と書かれたシールや今年の干支のネズミの飾りを取り付けて仕上げました。

参加者は、「とても華やかに仕上がり満足。来年も参加して作りたいです」と話しました。

歌声自慢 老連新春カラオケ

1月9日



中央公民館大ホールで、神戸町老人クラブ連合会主催の「新春カラオケ大会」が開催されました。

この大会は新春の恒例行事で、今年は42名のカラオケ愛好家が自慢の歌声を披露しました。ステージには、着物やドレス、スーツを着た出場者が次々に登場し、「天城越え」(石川さゆり)や「まつり」(北島三郎)などのヒット曲を、約420名の来場者の前で力いっぱい熱唱しました。

行政相談委員のお仕事を知ろう！

1月16日



町内の小学6年生を対象に、神戸町行政相談委員(北村玲子さん、立川節子さん)による出前教室が開催されました。

神戸小学校では、6年生71名が受講。北村さんは、町民からの暮らしに関する相談を受け、実際に活動した事例として、エコプラザごうどで不要なおもちゃの回収を始めたことができたことを紹介。「町や暮らしのことに関心をもって、皆が困っていることに気が付いたら行政相談委員に、気軽に相談してほしい」と話しました。

明智光秀と神戸町

1月16日

「明智光秀と神戸町」をテーマとした老人大学講座が中央公民館で開催され、285名が参加しました。講師は元岐阜県史編集室の児玉剛さんがつとめ、大河ドラマ『麒麟がくる』の主人公明智光秀と関わりの深い人物や町との関係について語りました。大垣市の円徳寺がかつて下宮地区にあったことを挙げ、光秀の姉、相模照子が同寺の道善法師に嫁いだことなどを紹介。

児玉さんは「今日の話を踏まえて、大河ドラマ『麒麟がくる』を見ると、より明智光秀と神戸町の関係性を身近に感じてもらえると思う」と話しました。



Super !!
Godo
Topics



シートベルト着用の大切さを学ぶ！

1月21日



県とJAF岐阜支部による、シートベルト着用の重要性を伝える授業が、北小学校4～6年生を対象に行われました。まず着用していた場合と、していなかった場合での差を映像で確認し、その後、シートベルトコンビンサー(衝突体験車)に乗り、時速5kmで衝突した際の衝撃を体験しました。

児童は「時速5kmでも衝撃が強く怖かった。改めてシートベルトの大切さが分かり、今後は後部座席でもしっかり着用したい」と話しました。